

エキノマパーク

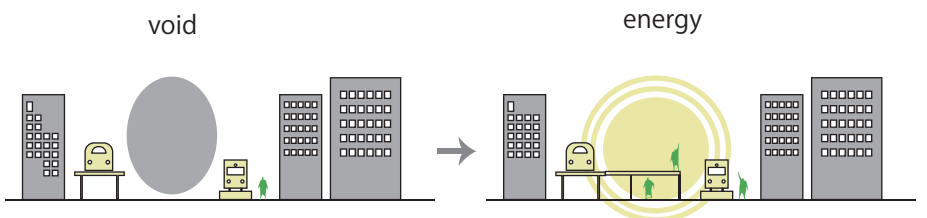


JR 三河安城駅 / 東海道新幹線の線路が交差する『都市の隙間』に、カフェやスケートボードを楽しむ事が出来る施設『エキノマパーク』を創り出す。

エキノマパークが出来る事によって、街に“スケボーのまち安城”と言う新たな魅力が加わり、東京オリンピック 2020 をきっかけに盛り上がり始めたスケートボードカルチャーと共に成長し、地域に不足していた賑わいや文化を創出する。

都市の隙間でスポーツを！街を変えるエネルギーを創出！

対象敷地は JR 三河安城駅 / 東海道新幹線の線路が交差する狭間にある。周辺はビルや駐車場に囲まれ寂しい印象を受ける場所だが、住宅が少なく、多少騒音を出しても許容される環境である。『都市の隙間』に新たにスケボーパークをつくることで、“スポーツで街を変えるエネルギー”を創出する。



都市の隙間をスケボーパークにする事でこれまでになかった魅力が生まれる

官民でビジョンを共有しながら行う事業スキーム

三河安城をスポーツのまちとして一緒に盛り上げよう！という共通の目標を持ち、スケーター、地域住民、まちづくり団体、行政、が相互に協力・理解し合う関係性を構築する。スケーターたちの社会貢献により地域住民の理解が得られ、一般市民の『ストリートスポーツ』への偏見が少なくなり、『マナーを守ってスポーツを楽しむ』というスケーター自身の意識向上にもつながれば、「スケボーパーク」を拠点としてまちなかにスケートボードができるエリアが増えていき、スケートボード本来のストリートスポーツとしての楽しみ方が出来るようになる。

